

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	なごやかな森潮江			
○保護者評価実施期間	令和7年5月26日 ~ 令和7年6月7日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	32	(回答者数)	31	
○従業者評価実施期間	令和7年5月26日 ~ 令和7年6月7日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数)	8	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊かな専門職と保育士との多職種による個々に寄り添った支援の充実	経験豊かな専門職と保育士との多職種がチームとなり、個々のニーズや課題を多角的に分析し、個別と小集団を掛け合わせた質の高い支援の提供	更なる充実した支援のために、法人内外研修や勉強会などを充実させ、職種問わず1人ひとりがスキルアップできる機会の提供
2	併設している保育園との連携を図り、児発でできたことを実践できる環境があるインクルーシブの強み	併設園との児童同士の交流を通し、児発で養ったコミュニケーションや社会性、運動面など多岐にわたる面での実践可能な環境があり更なる個々の成長を期待	併設園とのより密な交流が図れるよう、職員同士の情報共有や連携可能な機会創出などの工夫を継続して行っていく
3	給食会社による手作りの給食やおやつ提供を通しての食育にも力を入れており、生活面から言語運動社会性まで多岐にわたる面での発達の成長	食育を通し食べることの楽しさや興味や意欲を育むなど支援全般において主体性を大切に、たくさんの「小さなできた」を積み重ねる支援の提供	保護者との連携を密にし生活面を含む様々な課題を共有し、個々の課題に沿った充実した支援の実施

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるごと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に開かれた運営機会の不足	併設の保育園との交流や連携の機会は十分にあったが、それ以外の地域との交流は少なかった	併設保育園との交流や連携の機会を増やし、また地域との交流の機会も検討する
2	グループでのペアトレや情報交換会の機会の不足	個別でのペアトレの機会は提供していたがグループでの機会は未実施	グループワークでのペアトレを定期的に企画し共有する
3	保護者同士の交流やきょうだい支援の不足	保護者と事業所との信頼関係の構築に尽力してきたため、今後は保護者同士やきょうだい支援にも力を入れていく	保護者の交流やきょうだい支援を定期的に企画し共有する

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	なごやかな森湖江
------	----------

公表日 令和 7 年 6 月 9 日

利用児童数 令和 7 年 6 月 7 日 回収数 31

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31				・身体を動かしやすいスペースだと思います。	・今後も、活動スペースの十分な確保に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28			3	・利用者に対して、職員の数が分からないです。	・配置基準をクリアした人員配置を日々行っておりますのでご安心ください。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			1	・イラストや写真などが掲示されていてわかりやすい工夫がされています。	・今後も、わかりやすい構造化、及び設備管理に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31				・個別指導室など目隠しなどされていて集中しやすい工夫がされていると思いました。	・今後も、活動に合わせた心地よく過ごせる環境づくりに努めてまいります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				・子どもの気持ちを大切にしてくださっていると感じます。	・今後も、特性等に応じた専門性のある支援の提供に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			1		・支援プログラムをホームページで公表し、支援プログラムに即した支援内容を提供しております。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31					・今後も、お子様と保護者さまのニーズや課題に沿った計画を作成してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			4		・今後も、ガイドラインにおいて必要に応じた項目を選択し、具体的な支援内容を設定してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					・今後も、計画に沿った支援を行ってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28			3	・日々いろいろなプログラムが組まれており、子どもたちも楽しそうなので感謝しています。	・今後も、活動プログラムに工夫を施してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	21	3		7	・保育所と併設されているため、園庭で交流できるのは良いことだと思う。	・園庭や行事等で併設保育園との交流を行っております。今後も、引き続きより活発に交流を行ってまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					・今後も、丁寧な説明に努めてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					・今後も、「児童発達支援計画」を提示しながらの丁寧な説明に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	4	1	7	・もう少し、家族型の参加や利用者の親同士での意見会などあるといいと思う。 ・他の保護者の方と意見交換などの交流をしていただけたらなと思います。	・現在、順次個別での家族支援プログラムを実施しています。今後、グループでのペアトレも実施してまいります。また、必要に応じた研修会や情報提供も行ってまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1				・今後も、保護者さまとお子さまの状況について共通理解を図るよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1		2	・利用開始間もないでの不明	・今後も、定期的な面談や助言を行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30			1	・送迎の際にも、話を聞いてくださり相談しやすいです。	・今後も、共感的な支援が行えるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	7	11	・保護者会やきょうだいを含めた交流をしてみたいです。	・今後、保護者同士の交流や兄弟への支援の場などの開催を検討してまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1		・声の大きさの用紙を家でも使用したくお願いしたところ、すぐに対応していました ・連絡アプリの返事が遅いことがあった	・今後も、ご相談に迅速に対応できるよう努めてまいります。また、確認が必要な内容やご連絡をいただいたお時間によっては翌日の返信となることがあるごとににつきましても周知及び説明をしてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31				・今後も、意思疎通や情報伝達のための十分な配慮をしてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	2	1		・今後も、ホームページ等で支援プログラムや自己評価を掲載してまいります。また、連絡アプリ等も活用し保護者さまへの発信を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28		3		・今後も、個人情報の取り扱いに関し十分に配慮してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27		4		・各種マニュアルを策定しており、今後も周知・説明に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		5	保育園と一緒に避難訓練が定期的に行あり、非常にありがたい。	・今後も、必要な訓練を定期的に行ってまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29		2		・今後も、安全を確保する計画の周知及び、完全を十分に確保した上で支援に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27		4	・少しの怪我でも丁寧に伝えてくれるので助かります。 ・今のところ怪我もなく帰ってきてるので今後とも何かあれば説明をお願いします。	・今後も、怪我の大小に関わらず、迅速な連絡や適切な状況説明を行ってまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31			・帰宅後に今日はどうだったか聞くと、楽しかったよと言っているので信頼していると思います。 ・とても楽しそうに通えています。 ・先生のことが好きで楽しそうです。	・今後も、通所されるすべてのお子さまが安心感をもって通所できるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31			・いつも、なごやかさんいつ？と聞いてくるので、楽しみにしていると思います。 ・通所する日は「いつだね」といつも楽しみにしています。	・今後も、通所されるすべてのお子さまが通所を楽しみにしていただけるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1		・いつもアプリで活動内容を詳しく教えていただいているので安心しています。 ・最近、言葉がどもったり、何を話しているかよくわからないことがあります、言語発達が低迷しているように感じることがあります。	・今後も、支援に満足いただけるよう努めてまいります。また、お子さまの成長過程においての様子の変化の共有を十分に図りながら支援に満足していただけるよう尽してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	なごやかな森潮江	公表日	令和 7 年 6 月 9 日
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい ○	いいえ 適切なスペースで活動できる配慮を施しています。 今後も、適切なスペースで活動ができるよう努めてまいります。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	はい ○	配置基準人員に加え、専門的支援体制加算の人員を配置しています。また、子どもの状態に応じて配置できる人員も含めて十分な職員を確保しています。 今後も、適切な人員配置ができるように人材確保に努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	はい ○	必要な視覚支援などの構造化された環境設定を行っています。また、快適に活動しやすいように設備にも配慮を施しています。 今後も、視覚や聴覚の過敏な特性の子どもにも情報伝達がスムーズにできる環境的配慮を施してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	はい ○	活動がしやすいように、清潔で整理整頓の行き届いた空間づくりに努めています。 今後も、心地よく快適に過ごせる環境の提供に努めてまいります。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	はい ○	個別支援利用時や子どもの状態に応じ、適宜個別の部屋を提供しています。 今後も、必要に応じて個別の部屋や場所を使用できる環境を提供してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	はい ○	日々の打ち合わせや振り返り、職員会議も含め、多職種の職員が参画できるよう努めています。 今後も、より広く職員が参画していくよう努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい ○	保護者さまからの評価表により意向を把握し、業務改善につなげています。 今後も、保護者さまからの評価から意向を把握し業務改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	はい ○	会議や日々の振り返りなどで意見やアイデア等を広く募り、業務の工夫や改善に活かしています。 今後も、職員の意見を把握できる場や機会を設けてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	はい ○	第三者による外部評価は定期的に実施予定です。 必要に応じ実施できるよう努めてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	はい ○	法人内の事例検討会などの研修や、市内での開催の研修など職員の資質向上の機会を確保しています。 今後も、必要に応じ職員育成および資質向上のための機会確保に努めてまいります。
適切な支援のため	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	はい ○	ホームページに支援プログラムを公表しています。 今後も、支援の内容や方向性に応じての支援プログラムの作成および公表を行ってまいります。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	はい ○	アセスメントを丁寧に行い、ニーズを客観的に分析して作成しています。 今後も、アセスメントや課題の分析等を丁寧かつ適切に行ってまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	はい ○	多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。 今後も、共通理解のもとでの作成ができるよう尽力してまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	はい ○	支援計画に応じた支援の実施を行っています。 今後も、全職員間で共有し支援に活かしていくよう努めてまいります。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	はい ○	発達検査等を踏まえてのアセスメントと、事業所ならではのアセスメントを組み合わせて確認を行っています。 今後も、様々なツールを駆使しアセスメントの質向上に努めてまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	はい ○	個々に必要な支援の項目を選定し、各項目に沿った具体的な内容を設定しています。 今後も、必要な項目の選定や具体性のある支援内容の設定を客観的かつ適切に行ってまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	はい ○	多職種による活動プログラムの立案を行っています。 今後も、チームでのプログラム立案に努めてまいります。

提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	固定化されず、かつ小さな変化を繰り返しながら抵抗なくプログラムに参加できるような工夫を施しています。	今後も、よりよい支援となるプログラムの立案を行ってまいります。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	個々の状況に応じた個別と集団を適宜組み合させた計画及び支援を行っています。	今後も、個々の状況に応じ適時個別と集団を組み合わせた計画作成と支援を行ってまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	多職種で支援前の打ち合わせなどの連携を図っています。	今後も、口頭の打ち合わせやコミュニケーションノートも活用し、日々の職員間の連携が十分に行われるよう努めてまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	支援終了後に、記録業務等を行いながらの気づきの共有を図っています。	今後も、その場にいない職員も含め気づきを共有できるよう努めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	日々の支援記録作成を徹底し、支援の改善につなげています。	今後も、よりよい支援記録となるように内容や記述法について改善を図ってまいります。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	定期的なモニタリングと適切な見直しを行っています。	今後も、定期的なモニタリングと適切な見直しを行ってまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	個々の状況やアセスメント等を理解した者が参画できるよう努めています。	今後も、適切な参加者が参画できるよう努めています。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	必要に応じ連携や支援が行える体制を整えています。	今後も、必要に応じ連携を図ることができる体制の確立を行ってまいります。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	移行に向けた支援も含め、適時所属園との情報共有や相互理解を図っています。	今後も、よりスムーズな移行に向けての支援が行えるよう、所属園を含む機関との情報共有や相互理解に努めています。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っています。	今後も、適宜情報提供や相互理解を図つけるよう体制を確立してまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	(28~30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	定期的に児童発達支援センターへの訓練見学等の連携を図り、必要に応じ助言を受ける機会を作っています。	今後も、必要に応じ助言を受ける体制を確立してまいります。
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	併設している保育園をとの交流する機会を設けています。	今後も、併設している保育園を始めとした地域との交流の機会確保に努めています。
	33 曜頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	日ごろから保護者さまと話す機会を持ち、状況や課題についての共通理解を図っています。	今後も、より保護者さまとの情報伝達の機会を増やし、様々な点についての共通理解を図っています。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	現在、個々のご家族向けのペアトレの機会をつくっています。	今後も、個々のペアトレの機会と共にグループでのペアトレの開催も行い家族等の参加できる研修や情報提供等を行ってまいります。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	丁寧な説明を行っています。	今後も、丁寧な説明を行ってまいります。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	意思を尊重し意向を確認する機会を設けています。	今後も、引き続き意思を尊重し意向を確認する機会を設けてまいります。

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています。	今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明と同意を得るために努めてまいります。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	定期的な面談や相談に応じる機会をつくり支援や助言を行っています。	今後も、定期的な面談や相談に応じる機会を持ち、保護者さまからの子育ての悩み等にお答えする体制を確立してまいります。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者同士やきょうだいへの支援などの計画の周知をしています。	今後、保護者同士の交流や兄弟支援の機会を設けるよう努めてまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	相談や申し入れについての対応を整備し、相談や申し入れ時には迅速かつ適切な対応をしています。	内容によっては確認が必要な内容や連絡アブリへの連絡時間によっては翌日の対応になることもありますので、より迅速な対応に努めます。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	SNSやホームページ等を活用し活動概要を発信をしています。	今後も、活動概要等を中心に発信を行ってまいります。
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	視覚的や聴覚的にわかりやすい配慮を施しています。	今後も、分かりやすい工夫を施せるよう努めてまいります。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	併設する保育園との交流などを通し地域とのつながりを大切に事業運営を行っています。	今後も、地域に開かれた運営を様々な側面から検討してまいります。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	各種マニュアルを策定し保護者や職員に周知し、定期的に訓練を行っています。	今後も、必要に応じ様々な事態に対応するためのマニュアルの更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	業務継続計画を策定し、訓練を行っています。	今後も、必要に応じ非常災害の発生に備えた計画の更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	アセスメント時の確認や、状態変化時の確認などを必要に応じて行っています。	今後も、継続し状況確認に努めてまいります。
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	医師の指示書に基づき、給食会社への対応指示などを行っています。	今後も、指示書に基づき適切に対応してまいります。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っています。	今後も、必要に応じて安全計画の更新を行い、それに即した安全管理を徹底してまいります。
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	連絡アプリや電話連絡を含めた家族等との連携手段を周知しています。	今後も、継続し家族等との連携がスムーズに行えるような手段の構築に努めてまいります。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	全職員で共有し、再発防止に繋げています。	今後も、ヒヤリハットを事業所内で共有しやすい環境をつくり、再発防止に向けた方策についての検討を行ってまいります。
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	職員への虐待防止の研修機会の提供を行っています。	今後も、継続して虐待を防止するための研修や周知を行ってまいります。
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	やむを得ず身体拘束を行う際の取り決めを行い、必要に応じ計画に記載しています。	今後も、身体拘束の適正化についての取り決めについて検討し、適切に対応してまいります。

公表

事業所における自己評価総括表(保育所等訪問支援)

○事業所名	なごやかな森潮江		
○保護者評価実施期間	令和7年5月26日	~	令和7年6月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年5月26日	~	令和7年6月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和7年5月26日	~	令和7年6月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の保育と専門的な視点を組み合わせた支援の提供	保育経験のある法人だからこそ共感と尊重、そして専門的視点を組み合わせた支援の提供	より専門的な視点が充実するようにスキルアップを図っていくなどの工夫
2	専門職と保育士による多職種による支援の提供	専門職と保育士による多職種による多角的な視点による支援の提供	安定した人員配置ができるような人材確保
3	訪問先施設での課題を児童発達支援での課題に組み込んで支援に活かせる体制	訪問先施設での課題を児童発達支援での課題に組み込み、保護者や本人にとってより良い支援の提供の実施	訪問先施設や保護者との連携をより密に行い、支援内容の向上を図っていく体制整備

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幅広い訪問先施設での支援の実施	ニーズのある家庭が幅広く支援を受けられるように関係機関との連携が必要	ニーズの把握を関係機関との連携とを強化
2	訪問先施設での支援のほか、訪問先施設での課題や支援の共有可能な場が限定的な場合がある	訪問先施設での支援のほか、家庭で支援を活かすことや児童発達での課題共有をすることで本人支援の汎化が期待されるが、児童発達の利用のない家庭での汎化可能な場が限定的な場合がある	保護者や訪問先との連携を密にし、支援の汎化ができる体制強化
3	保護者同士の交流やきょうだい支援の不足	保育所等訪問支援の始動より数カ月と日が浅く、利用人数も少なかったため実現していなかった	児童発達支援との共同で保護者の交流やきょうだい支援を企画し共有する

		公表	保護者からの事業所評価の集計結果					
事業所名	なごやかな森湖江		公表日 令和 7 年 6 月 9 日					
				利用児童数		令和 7 年 6 月 7 日		回収数 4
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	はい 3	どちらともいえない 1	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					今後も、必要に応じて必要な教具教材を整えてまいります。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					今後も、事業の目的を丁寧かつ適切に説明してまいります。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					今後も、保護者さまや訪問先と相談のうえで決定してまいります。
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					今後も、お子さまの状態に応じた職員が支援にあたる体制を整えてまいります。
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	4					今後も、お子さまの特性等を理解した専門性のある支援の提供に努めてまいります。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					今後も、ニーズや課題を分析した計画の作成に努めてまいります。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					今後も、訪問先の先生方の意向も組み入れた計画の作成に努めてまいります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					今後も、ガイドラインの内容を踏まえた支援内容の設定に努めてまいります。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					今後も、計画に沿った支援の提供に努めてまいります。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					今後も、訪問先施設に配慮した支援の提供に努めてまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					今後も、事前の丁寧な説明に努めてまいります。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明に努めてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1				今後も、個々の対応とはなりますがペアトレや必要な情報提供を行ってまいります。
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4					今後も、共通理解が図れるよう努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					今後も、定期的に面談や助言を行ってまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					今後も、共感的な支援を行うよう努めてまいります。
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					今後も、ご相談に迅速に対応できるよう努めてまいります。
19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					今後も、意思疎通や情報伝達のための十分な配慮をしてまいります。	
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4					今後も、訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言を行ってまいります。	

	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4					今後も、訪問先施設からの相談に適切に応じ、必要な助言を行ってまいります。
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4					今後も、保護者に対し丁寧かつ適切に共有してまいります。
非常時等の対応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					今後も、ホームページ等で自己評価を掲載してまいります。また、連絡アプリ等も活用し保護者さまへの発信も行ってまいります。
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					今後も、個人情報の取り扱いに關し十分に配慮してまいります。
満足度	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4					今後も、訪問先施設と連携し緊急時の対応について対応してまいります。
	26 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					今後も、安全を確保する計画の周知及び、完全を十分に確保した上で支援に努めてまいります。
	27 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4					今後も、訪問への抵抗軽減や楽しみにつながるような支援の提供に努めてまいります。
	28 事業所の支援に満足していますか。	4					今後も、支援に満足いただけるよう努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

なごやかな森潮江

公表日

令和 7 年 6 月 9 日

利用児童数

令和 7 年 6 月 7 日 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3				今後も、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3				今後も、満足していただけるよう努めてまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3				今後も、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことでの課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3				今後も、課題や困りごとの解消につながるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3				今後も、満足いただける支援の提供に努めます。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		なごやかな森潮江				公表日	令和7年6月日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 整 運 備 ・ 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		必要に応じて教具教材を準備しています。	今後も、教具教材の見直しを適宜図ってまいります。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		必要な配置人員を満たして運営しています。	今後も、適切な人員配置ができるように人材確保に努めます。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々の打ち合わせや振り返り、職員会議も含め、多職種の職員が参画できるよう努めています。	今後も、より広く職員が参画していくよう努めてまいります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者さまからの評価表により意向を把握し、業務改善につなげています。	今後も、保護者さまからの評価から意向を把握し業務改善に努めてまいります。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		会議や日々の振り返りなどで意見やアイデア等を広く募り、業務の工夫や改善に活かしています。	今後も、職員の意見を把握できる場や機会を設けてまいります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は定期的に実施予定です。	必要に応じ実施できるよう努めてまいります。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内の事例検討会などの研修や、市内での開催の研修など職員の資質向上の機会を確保しています。	今後も、必要に応じ職員育成および資質向上のための機会確保に努めてまいります。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。	今後も、アセスメントや課題の分析等を丁寧かつ適切に行ってまいります。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		多職種による職員が共通の理解のもとで検討を行い、作成に携わっています。	今後も、共通理解のもとでの作成ができるよう尽力してまいります。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		相談専門員を介すなど訪問先施設との連携を図ったうえで計画の作成を行っております。	今後も、訪問先施設との連携を図り意向を汲み取ったうえで計画作成を行ってまいります。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画に応じた支援の実施を行っています。	今後も、全職員間で共有し支援に活かしていくよう努めてまいります。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達検査等を踏まえてのアセスメントと、事業所ならではのアセスメントを組み合わせて確認を行っています。	今後も、様々なツールを駆使しアセスメントの質向上に努めてまいります。	
適 切 な 支 援 の 提 供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定しています。	今後も、支援内容の設定を具体的かつ適切に行ってまいります。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画に応じた支援の実施を行っています。	今後も、全職員間で共有し支援に活かしていくよう努めてまいります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		多職種で支援前の打ち合わせなどの連携を図っています。	今後も、口頭の打ち合わせやコミュニケーションノートも活用し、日々の職員間の連携が十分に行われるよう努めてまいります。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援終了後に、記録業務等を行いながらの気づきの共有を図っています。	今後も、その場にいない職員も含め気づきを共有できるよう努めてまいります。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先施設の理念や支援手法を伺い尊重しています。	今後も、訪問先施設の理念や支援手法を尊重して支援を行ってまいります。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		日々の支援記録作成を徹底し、支援の改善につなげています。	今後も、よりよい支援記録となるように内容や記述法について改善を図ってまいります。	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	定期的なモニタリングと適切な見直しを行っています。	今後も、定期的なモニタリングと適切な見直しを行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	個々の状況やアセスメント等を理解した者が参画できるよう努めています。	今後も、適切な参加者が参画できるよう努めてまいります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	必要に応じ連携や支援が行える体制を整えています。	今後も、必要に応じ連携を図ることができる体制の確立を行ってまいります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>	必要に応じ、支援内容の情報提供や相互理解を図っています。	今後も、適宜情報提供や相互理解を図つけるよう体制を確立してまいります。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>	定期的に児童発達支援センターへの訓練見学等の連携を図り、必要に応じ助言を受ける機会を作っています。	今後も、必要に応じ助言を受ける体制を確立してまいります。
	24	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	現在のところ、参加する機会がありません。	今後も、機会があれば積極的に参加をしてまいります。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	日ごろから保護者さまと話す機会を持ち、状況や課題についての共通理解を図っています。	今後も、より保護者さまとの情報伝達の機会を増やし、様々な点についての共通理解を図つてまいります。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	現在、個々のご家族向けのペアトレの機会をつくっています。	今後も、個々のペアトレの機会と共にグループでのペアトレの開催も行い家族等の参加できる研修や情報提供等を行ってまいります。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	丁寧な説明を行っています。	今後も、丁寧な説明を行つてまいります。
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>	事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行つております。	今後も、事業の趣旨や訪問支援の目的について適切に説明を行つてまいります。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	意思を尊重し意向を確認する機会を設けています。	今後も、引き続き意思を尊重し意向を確認する機会を設けてまいります。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	計画を提示しながら説明を行い、同意を得ています。	今後も、計画を提示しながらの丁寧な説明と同意を得るように努めてまいります。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	相談に適切に応じ必要な助言や支援を行っています。	今後も、相談に適切に応じ必要な助言や支援を行つてまいります。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	保護者同士やきょうだいへの支援などの計画の周知をしています。	今後、保護者同士の交流や兄弟支援の機会を設けるよう努めてまいります。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	相談や申し入れについての対応を整備し、相談や申し入れ時には迅速かつ適切な対応をしています。	内容によっては確認が必要な内容や連絡アブリへの連絡時間によっては翌日の対応になることもあるので、より迅速な対応に努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	SNSやホームページ等を活用し活動概要を発信をしています。	今後も、活動概要等を中心に発信を行つてまいります。
	35	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	視覚的や聴覚的にわかりやすい配慮を施しています。	今後も、分かりやすい工夫を施せるよう努めています。
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>	訪問先からの相談等に適切に応じています。	今後も、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整えてまいります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>	訪問先施設とのカンファレンスを行つています。	今後も、訪問先施設とのカンファレンスを適切に行つてまいります。

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		支援内容等の共有を図っています。	今後も、支援内容等の共有を適切に図ってまいります。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		パソコンに含まれるデータや書面での個人情報も含め個人情報の取り扱いには十分留意しています。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意してまいります。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		信頼関係を気づけるように努め、専門的な助言を行っています。	今後も、より信頼関係の構築ができるように努め、相談への専門的な助言ができるよう尽力してまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		各種マニュアルを策定し保護者や職員に周知し、定期的に訓練を行っています。	今後も、必要に応じ様々な事態に対応するためのマニュアルの更新を行い、それに即した訓練も実施してまいります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、安全管理を徹底した環境での支援を行っています。	今後も、必要に応じて安全計画の更新を行い、それに即した安全管理を徹底してまいります。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		全職員で共有し、再発防止に繋げています。	今後も、ヒヤリハットを事業所内で共有しやすい環境をつくり、再発防止に向けた方策についての検討を行ってまいります。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		職員への虐待防止の研修機会の提供を行っています。	今後も、継続して虐待を防止するための研修や周知を行ってまいります。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		やむを得ず身体拘束を行う際の取り決めを行い、必要に応じ計画に記載しています。	今後も、身体拘束の適正化についての取り決めについて検討し、適切に対応してまいります。